

科目名 (科目番号)	母性看護学実習 (074253)	教員名 大槻優子 近藤まゆみ	学科等	看護	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		実習前オリエンテーション時に提示		
授業概要	母性看護学概論, 母性看護学援助論の学習内容をふまえ, リプロダクティブヘルス・ライツの視点から, ライフサイクル各期にある女性の健康状態を査定し, ウェルネスを促進する支援のあり方や包括的な看護活動を学ぶ。 関係する垂直軸: 看護、健康の状態、生活環境、多職種連携						
準備学習							
授業計画	到達目標・学習内容						
	<p>1. 学習内容 周産期(妊娠期・分娩期および産褥期)における母児の身体的特徴、およびその家族を含めた心理・社会的特徴を査定し、対象に応じた必要な看護実践能力を養う。また、周産期前後にある女性の健康課題に対する看護について考察する。</p> <p>2. 到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠、分娩、産褥期の母子の健康状態を評価し、必要な援助ができる。 2) 周産期における継続看護の実際について考察できる。 3) 正常な経過を逸脱した妊娠、分娩、産褥期の母子の健康問題について考察できる。 4) ライフステージ各期における女性の健康課題について考察できる。 5) 医療チームの一員としての看護職者の役割を理解し、専門職としての態度を養うことができる。 6) 実習を通して、生命の尊厳や親子家族について考え自己の看護観を養うことができる。 						
成績評価の方法・基準	母性看護学実習評価表に基づき評価を行い60%以上の取得を必要とする。						
教科書	母性看護学概論・援助論と同じテキスト						
参考図書	写真でわかる母性看護技術 ウェルネスからみた母性看護過程 ナーシンググラフィカ30 母性看護学－母性看護実践の基本 ナーシンググラフィカ31 母性看護学－母性看護技術	平澤美恵子/村上睦子 監修 佐世正勝/石村由利子 編集 横尾京子/中込さと子 編著 横尾京子/中込さと子 編著	インターメディカ 医学書院 メディカ出版 メディカ出版				
教員からのメッセージ	周産期における看護実践は、母子および家族が対象であり、また、その展開が速く1度しか学習できないというような場面もあります。貴重な看護活動を成果あるものとするために、事前学習を確実に行って実習に臨みましょう。実習を通して生命への畏敬、家族・地域社会との関係を考える機会としましょう。						